



東日本大震災から約2ヶ月、傷跡消えず



3月11日午後2時41分、震度7という観測史上最大級の東日本大震災から約2ヶ月が経とうとします。犠牲者・行方不明者が2万7千人を超え、避難所で生活する人々も30万人以上です。さらに懸念される問題が、東京電力福島第1原子力発電所事故です。これによりたくさんの住民が避難、それだけではなくこの問題により風評被害が露呈し、全ての生産工場、農家などに影響が及んでいます。

在日同胞の被害も日を追うごとに明らかになっています。震災により犠牲になった同胞は、広島の2名を含め10名、安否不明者は250人余りです。家屋・店舗などの被害は200戸以上(3月31日現在統計。朝鮮



新報社HPより)。同胞飲食店は全壊や半壊などで再開不可能になり、パチンコ店は機械はもちろん内装までもやり直さなくてはいけない状況。被害が少ない店舗でも軒並み自粛モードが続く中、まともに営業もできていないといえます。

深刻なのは、東日本4カ所にあるウリハッキョ。特に東北初中級学校(宮城県仙台市)は、校舎が倒壊寸前により危険区域に指定され立ち入り禁止に。寄宿舍も地盤沈下や地割れにより3分の1が使用不能に。授業はかろうじて無傷だった寄宿舍の一部を利用し運営をしています。

そんな中、私たち広島同胞の気持ちを込めた救援物資を、李正雄(リ・ジョンウン

=広島県商工会副会長 兼 東地域商工会会長)さんと福島県出身の河弘哲(ハ・ホンチョル=歌舞団団長)さんがトラックに乗り往復2,400kmの距離を32時間かけて運び、直接被災地を見てきました。

李正雄さんは「こんなにひどい状況を目の当たりにして、ため息しか出ない。これからも私たちは東北同胞たちのために働きかけなければならない。育ちゆく未来の希望である学生たちが、不自由なく学べられる環境を再構築しなくてはならない」と、こみ上げる気持ちを押しえながら話していました。



共和国より在日同胞へ義援金50万ドル!

3月24日付の朝鮮中央通信によると、朝鮮民主主義人民共和国の金正日総書記が今回の震災により被害を受けた在日同胞へ義援金50万米ドルを送りました。義援金の分配は次の通り。

遺族へ（故人1名あたり）20万円

原子力発電所事故により放射能被害を受けた同胞（一戸あたり）5万円

家屋（一戸当たり）

全壊 15万円

家屋半壊 10万円

床上浸水 5万円

店舗（一店舗当たり）

全壊 15万円

半壊 10万円

朝鮮赤十字会より日本赤十字社へ義援金送られる!



総聯中央許宗萬（ホ・ジョンマン）責任副議長が3月25日、日本赤十字社を訪れ東日本大震災に関連し、朝鮮赤十字会中央委員会が送った義援金を伝達しました。伝達式には日本赤十字社近衛忠輝（このえ・ただてる）社長が参席、義援金10万米ドルと目録を受け取りました。

責任副議長は、かつてない地震により多大な被害を受けた日本の遺族や被害者に在日同胞を代表し哀悼の意を表しました。（朝鮮新報社HPより転載）

2011学年度入園・入学式



4月3日、「学校法人広島朝鮮学園 広島朝鮮初中高級学校及び附属幼稚園 2011年度入園・入学式」が盛大に行われました。今年度幼稚園には11名、初級部17名、中級部20名、高級部26名が入学し、全校生徒は234名になりました。

第18回 ビョンファ杯開催!

「第18回朝・日親善高校広島サッカー大会(ビョンファ杯)」が3月25～26日にかけてありました。参加校は、広島朝高、石見智翠館、京都朝高、沼田高校、境高校、神村学園、崇徳高校、大社高校、初芝橋本高校でした。

1位 初芝橋本高校
2位 大阪朝高
3位 境高校

広島朝鮮学園連合同窓会 期別責任者会議

4月15日、広島朝鮮初中高級学校会議室で「連合同窓会期別責任者会議」が開かれました。会議では李有史（リュサ）会長が「『同窓会』とは、思い出と仲間との連帯ではないか」などとあいさつを述べた後、今年創立65周年を迎えるにあたり、11月12日にある学園祭に合わせ連合同窓会総会及び大同窓会を行うことを取り決めました。Xデーを目指して各期責任者たちは、それぞれの同窓生を最大限参加させることを目標に掲げました。

北地域花見モイム

4月10日、北支部の花見モイムがありました。自粛との意見もありましたが、東日本大震災への「広島から元気と勇気を」の気持ちを込め開催が決定、95名の同胞が参加しました。支部委員長が被災地への協力を呼びかけ、「チャルハジャ(がんばろう!)」の音頭で乾杯しました。モイムでは福島県出身で広島同胞の救援物資を被災地へ運んだ、河弘哲(ハ・ホンチョル)歌舞団団長から報告がありました。参加者全員「こんな時こそ団結した力で難局を乗り越えよう」と話していました。



朝青広島 新・卒業生祝賀モイム ～被災地への応援を込めて～



「チョチョン広島新・卒業生祝賀 焼肉モイム」が4月2日、朝鮮会館駐車場で行われました。同時に東日本大震災で被災した同胞たちのための募金活動や横断幕作成がありました。モイムには卒業生や新入職員ら8人を含む65人が参加しました。モイム終盤でチョチョンが作成した募金箱を持って回り、約6万円の義援金が集まりました。チョチョンの力で被災地になんとか元気を届けたいという気持ちが今回のモイムで一段と強まりました。この日書いた横断幕は後日東北朝鮮初中級学校へ無事届きました。

チョチョン講演会

「4.24教育闘争」63周年を記念し、朝青の講演会「第1回 朝青キャンパス」が朝鮮学園会議室で行われ、31人のチョチョン員が参加しました。講演会では、民族教育の権利や正当性を法律的観点で学び考えていこうということで、「民族教育とわたし」というテーマのもと、司法書士の呂民愛(リョ・ミネ=はるか司法書士事務所)さんを講師に招き行われました。講演のあとには質疑応答が行われ、講師が丁寧に答え有意義な講演会となった。講演会のあとには広島駅南口、北口で高校無償化除外を反対するピラ配りが行われ、計500枚のピラを配りました。

チョチョン南支部「スキルアップソージョ」開始!!



チョチョンでは、各支部ごとに新しいソージョ(サークル)を立ち上げ活動をしています。南支部では「ためになるソージョ」をテーマに、みんなで資格を修得するための「スキルアップソージョ」を4月7日から始めました。第一弾は「簿記3級取得」を目指し、資格所持者の南支部ペ・スンドル委員長が講師をしました。これから月2回ペースで活動をし、部員数も増やすことを目標に宣伝や訪問活動をしていきます。「がんばって勉強して、一発合格を目指します！」(李明華さん)

4月14・15の両日にかけて講演会がありました。14日は広島市留学生会館で、15日は朝銀西福山支店講堂で、講師に朝鮮大学校経営学部准教授の朴在勲(パク・ジェフン)氏を迎えました。「2012年に向けた朝鮮半島の展望と在日社会の未来について」のテーマのもと、計115名が参加し、講演では、2012年に共和国で強制大国を開く年を迎えるにあたり、朝・米、朝・日関係が改善してゆき、同胞社会の未来に確固たる明るい展望が見えると話しました。参加者は「講演を聴いて力がわいてきた」などと感想を述べました。



明るい未来に向かって!

東日本大震災へのご協力、引き続きお願いいたします。

金正日総書記からの恩恵金が被災同胞に手渡され、**広島同胞からの義援金中間報告** 東日本大震災被害同胞救済募金(ウリハッキョ)の植田と同胞の生活再建のため支援金が渡されました

金正日総書記から日本赤十字社を通じて送られた1億5千万円(約2億5千万円)の恩恵金を受け、被災同胞に手渡され、被災同胞の生活再建に大きく貢献しました。

恩恵金の受け渡しは、4月15日(土)朝青キャンパス(広島市)で行われ、約1,500名が参加しました。

恩恵金の受け渡しは、4月15日(土)朝青キャンパス(広島市)で行われ、約1,500名が参加しました。

恩恵金の受け渡しは、4月15日(土)朝青キャンパス(広島市)で行われ、約1,500名が参加しました。

194件 2,968,222円

ウリハッキョの植田と被災地同胞の生活再建のためには長期的な支援が必要で、引き続き募金運動に多くのご協力を!

口座名: 東日本大震災被害同胞救済募金
口座番号: ハチ信用組合 本建支店
(管) 1131243

たくさんのご支援ありがとうございます。

復興には長い年月が必要と思われま。東日本復興のために私たちができる事を!

口座名 NPO法人 ロマン(エヌピーオーハウジン ロマン)

口座番号 広島銀行 広島東支店 普通3182475 朝銀西信用組合 広島支店 普通1111705

全国歌舞団の気持ちをこめて！

全国7カ所で活動している朝鮮歌舞団団員たちが、東日本大震災復興を願う気持ちを込めて、チャリティー CD を販売します。全7曲すべて現役団員の声で収録、現在レコーディング中です。1枚1,000円。このCDの収益金は、ウリハッキョ復興のために全額寄付されます。みなさん、ぜひご予約、ご購入いただき、ウリハッキョを応援しましょう！通常販売、ダウンロード販売をいたします。お問合せは歌舞団(284-6475)まで。



우리도 함께
チャリティー CD
「ウリドハムケ」
6月6日全国発売!

震災に関する用語あれこれ

○罹災(りさい)証明書とは？

罹災証明とは、市町村が被災状況の現地調査を行って確認した事実を発行する証明書で、家屋の被害程度(例えば全壊、半壊など)について証明をするものです。当事者の申請により、市町村が交付します。

○被災証明書とは？

被災証明書は、家屋などの建物以外の財産(例えば車や家財道具、家の周囲の塀や壁、門扉など)についての被害状況を証明するものです。これも申請により市町村が交付します。

※いずれも現在、日本政府や金融機関などが実施している各種の支援制度の利用、各種の給付金の申請、貸付や融資制度の利用、保険金等の請求、健康保険料や各種税金の減免や猶予手続き、避難先での公営住宅の応募などの際に必要になります。

定住者など期限のある在留資格を持つ在日同胞をはじめ外国籍の人たちで、震災以降の日に在留期限の更新が必要な人は、8月31日までにその手続きが延長されています。また、再入国許可を得ずに急遽避難のために一時帰国をした人たちが、また日本に戻ってくる際の「在留資格認定手続き」は簡略化されます。

これからの予定



- 15日 結婚相談所主催「出会いのパーティ」
(香川 坂出グランドホテル)
- 15日 青商会主催「出会いのパーティーin 宮島」
- 21日 中央青商会常任幹事会(広島)
- 22日 第28回 広島朝鮮学園チャリティゴルフ大会
(東広島G.C.C.)
- 29日 広島朝鮮学園 運動会



- 2日 オモニ会会長、役員、支部子女担当者
中四国九州地方集会
- 2~3日 ウリ民族フォーラム in 岐阜、中央総会
- 3日 結婚相談所主催「出会いのパーティ」
(小倉 ホテルニュータガワ)
- 10日 商魂塾主催 経営セミナー
(県商工会・朝銀西信用組合 共催 問合せ263-1411)
- 17日 チョチョン主催パダモイム



- 11日 青商会主催35才以下のためのイベント
- 18日 子育て支援の日(広島朝鮮学園 14:00~)

その他の予定はNPOセンターもしくは各地域担当者へお問い合わせ下さい。

<ヒロキョレ>
第18号は
7月8日(金)
発行予定です。